



大谷焼（鳴門市大麻町）

こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。
第18回は「吉野川で遊ぼう！大谷焼（2回目）」です。

体験レポートを書いてくれた、ようこねえさんからのリクエストで、2回目の大谷焼となりました。前回の執筆（2017.2Vol.9）を読んで、やってみたくと思ったそうです。吉野川で遊ぼう！18回目となりますがリクエストは初めてです。（じんわり嬉しいです）



苦戦する田窪さん



大谷焼で最も古い歴史をもつ窯元矢野陶苑の当主、矢野款一先生と奥さまにご指導いただきました。

まずは、矢野先生のお手本を見せてもらいますが、何度見ても、先生は楽しそうに簡単そうに、作品を創られます。むだのない動きは美しく、大谷の土が生きているかのように雰囲気のある器になりました。

電動ろくろは、チカラ加減が難しく苦戦します。思い通りにできないことも楽しみのひとつです。

手びねりは、奥さまに優しく教えていただきました。じっくりいろいろと考えながら創りますが、茶碗のつもりが煮物皿になったり、どんどん大きくなったりします。

気がつけば2時間こねこねと、一人1kgの大谷の土を余すところなく使い切りました。



※体験レポート（from ようこねえさんとあちゃこ）

3月の少し寒さが残るなか、人生初の大谷焼体験に行ってきました。

今回体験させていただいた「矢野陶苑」さんに到着後、まずは商品として店舗に並んでいる大谷焼を見て勉強です。どんなものを作ろうかと想像をふくらませてから、作陶に挑みました。

私は手びねりで鉢を作ったのですが、まあ思ったようにはいきません！

表面を滑らかにするのがとても難しかったです。しかも、表面を滑らかにするために近くに集中していたら形がいびつに・・・そんなこんなで、時間がかかりましたがなんとか鉢が完成しました！鉢の裏に名前を書き、最後に完成品の「色」を決めます。色は、黒・茶・白から選べたのですがそこは先生にお任せにしました。

絶対にきれいな色に仕上がるので、1か月後の完成がめちゃくちゃ楽しみです！また作陶の後は、大谷焼の登り窯も見せていただきました。なかなかできない体験だったので、とても勉強になりましたし楽しかったです。

次は電動ろくろに挑戦したいです！



今回、初めて大谷焼を体験させてもらいました。私は、もし失敗しても使えるような花瓶（のようなもの）を作ることに決めました。焼き物体験自体が初めてだったので最初はもう、何が正解か分からない状態でしたが、気づけば無心で土を捏ねていました（笑）

夢中で何かを作るのは楽しいことだと久しぶりに感じました。

初心者なのに、どうしても良い感じのくびれを作りたい！と苦戦しておりましたが、先生の力を借りてなんとか思い描いていた花瓶の形になりました・・・！

焼き上がりは一ヶ月後、焼くと今のものよりだいぶ小さくなって色も先生が付けてくれるとのことなので、どんな風になるのかとても楽しみです♪

きれいに完成していたら、春からは玄関に飾りたいなと思います！

18回にわたり執筆させていただいた「吉野川で遊ぼう！」ですが、今回で連載最後となりました。

遊ぼうを担当させてもらったおかげで、今までなかなか行く機会がなかった、吉野川 77km（池田ダムから海まで）を4日間かけてカヤックで下ったり、初めて飛んだ東みよし町のパラグライダーや温泉めぐりなども体験できました。私に付き合っ（付き合わされて？）一緒に遊んでくれた皆様、またこりずに遊びましょう。

拙い文章に最後までおつきあいいただき、ありがとうございました。



また機会があれば。